

※グループ討議の概要について

この資料は、グループ討議の振り返りのために、暫定的に議論の概要を整理したものです。ファシリテーターが受け取った内容を議論の概要として記述したもので、個別の意見を示したものではありません。修正が必要な点があれば、グループ討議の中で確認して下さい。

沼津高架P I プロジェクト 原地区第2回勉強会
グループ討議の概要【Aグループ】

今回の勉強会では、「地域づくりの目標」について、沼津市全体や広域に関わる内容について話し合いました。

このうち『拠点』については、沼津は三島や富士と連携し、集合体として「東部の拠点」を形成することで活性化を進めること、また、原地区についても沼津市のはずれという発想ではなく、集合体の一翼を担う地域として、特色や個性を発揮し発展することを目指したいとの考え方が示されました。

次に『交流』については、東駿河湾環状道路や新東名のスマートインターチェンジ等の整備に伴って、自動車でのアクセスが向上し多くの来訪者を見込めることから、農産物や特産品を販売する「道の駅」などの拠点施設が必要との考え方が示されました。防災の拠点についても、避難のために道路網を充実することや、東海大学を災害時の拠点として活用できないかといった意見が出されました。

『財政と事業効果』に関しては、命にかかわる事業を優先すべきことや、子育て関連の予算を増やして子育て世帯の流出を止めるべきこと、まちを活性化させる効果の高い事業を優先することなどの投資の優先順位に関わる意見や、時代の変化に応じて計画を見直すべきことなどの意見がありました。鉄道高架や貨物駅の事業については、必要性や費用対効果の面から再度見直しが必要ではないかとの意見もありました。

『PIの進め方』については、市に対しては同じ意見を何度も述べているとの指摘や、市と県で情報共有をして欲しいとの意見が出されました。また、勉強会での検討内容が高架事業とどう結びつくのかわからないことへの不安を訴える意見も出されました。

事務局から示された『戦略課題』については、概ね共有できることが確認されました。今後の課題としては、東駿河湾環状道路に伴う交通渋滞の対処もあるのではないかと指摘もありました。

※グループ討議の概要について

この資料は、グループ討議の振り返りのために、暫定的に議論の概要を整理したものです。ファシリテーターが受け取った内容を議論の概要として記述したもので、個別の意見を示したものではありません。修正が必要な点があれば、グループ討議の中で確認して下さい。

沼津高架P I プロジェクト 原地区第2回勉強会

グループ討議の概要【Bグループ】

本日は『地域づくりの目標』のうち、広域的な内容や全体の進め方についての議論が行われました。

予め整理された目標のうち、初めに『拠点』について議論がなされました。拠点という言葉は一極集中する印象を与えるが、沼津市だけで拠点を形成するのではなく、東部地域の各市町が連携し、役割分担しながら一緒に発展すべきことがグループで概ね共有されました。その際、沼津市の人口や税収は県東部でトップであることから「拠点」としての位置づけをあえて否定することはないことも確認されました。

『交流』については、新東名のスマートインターや東駿河湾環状道路など新たな交通網の整備がなされれば、物流拠点の立地の可能性は十分あるのではないかとの意見や、モノの交流拠点だけでなく人の交流拠点としたいなどの意見が出されました。また、企業の立地や税収や雇用や賑わいは簡単には生まれないのではとの指摘もありました。

『財政と事業効果』については、沼津市財政に無理がないようにすることについては、異論はなく、関連資料の提示の要望がありました。

『地域づくりの戦略課題』については、今後の検討で立ち返るべき基本姿勢が文章として表現されているとの意見がありました。また、原地区西部地域には未だ開発余地があり、富士山の眺望や自然や景観を活かして、農業や健康関連などの新規産業、また、公園を導入するなど、今後のランドデザインが重要であることや、原地区東部地域については、寺町を活かし歴史や文化を軸にした観光を考えたいとの意見が出されました。さらに、原地区西部地域にある、いわゆる迷惑施設について様々な意見がある中、生活に必要不可欠な施設でもあることを理解する必要がある、例えば、公園などを併設して、現状を知る機会をつくることも大切ではないか、との意見がありました。

この他、『原地区の地域づくりの目標』における「住環境」については、定住人口を増やし活力ある地域づくりを行うことで限界集落になることを避けたいといった意見が出されました。また、「広域から人を呼ぶ」ためには、先ずは今後予定されている交通網の整備とともに、懸案の放水路の整備が不可欠であることを共有しました。なお、勉強会資料を前もって配布して欲しいとの要望がありました。